

## 手を差し伸べる ～ 自らの役割が生まれる ～

2025 年 1 月 8 日、Wife（筆者が園長を務める『樋野動物園』の『ペンギン』）による『宇宙人 3 美女姉妹（池田知子 氏 & 青木美由紀 氏 & 森尚子 氏）』の英会話レッスンは自宅でスタートのことである。驚きである！まさに、『冗談を本気でする胆力』の実践であろう！

早速、『青木美由紀 氏 = アライグマ』から【ジーン先生の英会話楽しみにしています。】との連絡があった。『森尚子 氏 = 春風のようなゴリラ = 目白がん哲学外来カフェ代表』からは、年賀状が送られて来た（画像）。皆様の『器量』には、大いに感服する。歴史的快挙であろう！

『器量』といえば、『桃太郎』を思い出す。鬼ヶ島遠征の物語は、子供時代、村のお寺の紙芝居でよく聞かされたものである。『桃太郎』が『犬・雉・猿』という性質の違った（世にいう犬猿の仲）伴をまとめあげたことを挙げ、世に処する人は『性質の異なった者を容れるだけの雅量』をもたなければならないと 新渡戸稲造(1862-1933)は『世渡りの道』（1912 年）で述べている。これが、『樋野動物園』開設（2019 年 10 月 13 日）の目的であり、『競争の名の下に、実は 個人感情で 排斥をする自称リーダーへの 警鐘』でもある。また、『賢明な寛容 ～ 愛に溢れた雰囲気 ～』で、【『アルプスの少女ハイジ』の現代的意義：喜んで 無邪気に 小さなことに大きな愛を込める】であろう。

2020 年 12 月 6 日『樋野動物園』の企画による東京都恩賜『上野動物園の旅』に、wife と皆様と参加した（画像）。ゴリラ、パンダなど多数の動物を見学した。約 350 種とのことである。人間としての『個性と多様性』の貴重な確認の時となった。終了後、『春風のようなゴリラ』様達と、歴史的な会議で、『上野動物園の旅』（「樋野動物園出版局」）の冊子化が決定された（画像）。

『自分より困った人に 手を差し伸べようとすれば、自らの役割が生まれ、逆境は むしろ順境になるのです』&『目的は高い理想に置き、それに到達する道は臨機応変に取るべし』（新渡戸稲造）&『機会をつくるのも、それを用いるのも、人であります』【内村鑑三(1861-1930) 著『代表的日本人』】が鮮明に蘇ってくる。『個々の人間の 固有の役割 & 使命』の復学では なかろうか！



## 上野動物園の旅



表紙作者 平式 Rukia

### 上野動物園の旅

2025年 4月 15日 発行

編集者 三浦悠真 (東京大学経済学系学生)  
森田平 (筑波大学経済学系学生)

発行 『経済学雑誌』編集部